

2次感染を予防しましょう 家庭や施設の消毒について

新型コロナウイルス感染症は、手洗い・うがい等が基本的な予防対策ですが、2次感染予防には施設や家庭内の消毒が効果的な予防策となります。

消毒と言えば「消毒用アルコール」がよく知られていますが、現時点では消毒用アルコールが手に入りにくくなっています。

家庭にある塩素系漂白剤を薄めて作ることができる 0.05%次亜塩素酸ナトリウム液で2次感染の予防を実施しましょう。

0.05%次亜塩素酸ナトリウム液の作り方

次亜塩素酸ナトリウム液は使い方を間違えると、効果がないばかりではなく、思わぬ事故につながりますので、用途に応じて薄め、使用上の注意事項を必ず守って使用してください。

次亜塩素酸ナトリウム液は、塩素系漂白剤（ハイターやブライト等）を薄めて作ります。塩素系漂白剤の原液濃度が5~6%のものを選んでください。

500ミリリットルのペットボトルの水に、ペットボトルのキャップで1杯（約5ml）原液を入れます。これで0.05%の次亜塩素酸ナトリウム液が出来上がります。

2リットルのペットボトルだと、ペットボトルのキャップで4杯です。

※使用上の注意事項

- ① 手指の消毒には絶対に使用しないでください。
- ② 使用する時は窓を開けて、十分に換気してください。
- ③ 使用する時は必ずゴム手袋をし、目などに入らないよう注意してください。
- ④ 有毒ガスが発生するので、酸と混ぜて使用しないでください。
- ⑤ 漂白作用があるので、原液容器の使用上の注意を確認して使用ください。
- ⑥ 商品により塩素濃度が違うので表示を確認してください。
- ⑦ 薄めたものは時間が経つと効果が減るので、その都度使い切るようにしてください。

施設や家庭内等の消毒の方法

「感染症法に基づく消毒・滅菌の手引き」及び「MERS 感染予防のための暫定的ガイダンス」より抜粋

1 施設や家庭内で新型コロナウイルス感染症患者が発生した場合の消毒

用意するもの

- ① 0.05%次亜塩素酸ナトリウム
- ② 使い捨てタオル（または使い捨てペーパータオル）
- ③ 使い捨てゴム手袋
- ④ 使い捨てマスク
- ⑤ ゴーグル（または保護メガネ）
- ⑥ バケツ ⑦ ゴミ袋

消毒する場所

手が頻繁に接触する箇所

・ドアノブ・窓の取手・照明のスイッチ・手すり・蛇口・トイレの流水レバー など

消毒の手順

- ① ゴミ袋を二重にしたものを準備する。
- ② 使い捨て手袋、使い捨てマスク、ゴーグル（保護メガネ）等を着用する。
- ③ バケツなどに消毒薬（0.05%次亜塩素酸ナトリウム）を調整
- ④ 消毒液を使い捨てタオル等に染み込ませ、ふき取りする。
その後使い捨てタオル等で水拭きする。
- ⑤ 使用した使い捨てタオル等は、すぐにゴミ袋に入れ、ゴミ袋の口はその都度しめる。

2 日常の消毒

感染者は発生していなくとも、感染予防として日常的に消毒を実施することが重要です。
用意するものや消毒場所、手順は同じです。

使い捨てのものが無い場合などは、使用したものはしっかり滅菌してから洗濯しましょう。

タオル等の消毒滅菌 80℃～100℃の熱湯に10分間つける。または煮沸する。

スプレーボトルに入れて振りかけるのは、口から吸いこんだり目に入ってしまう危険があるので、十分に注意をして実施してください。（ゴーグルやマスクを装着すること）